



ナワシログミ（苗代菜莢） <グミ科・グミ属>

中部以西の暖かな地域の海岸沿いや林に生える高さ2~3mの常緑低木。葉は互生し、濃緑色で長さ5~9cmの長楕円形。革質で光沢があり全縁だが、葉の縁が大きく波打つため、不揃いな鋸歯の様に見える。葉裏は白っぽい鱗状毛が密生し、ポツポツと褐色鱗状毛が点在する。小枝の先はしばしば刺になり、刺を利用して他の者に絡み、樹形がややツル状になることもある。晩秋、香りのよい小花を下向きに咲かせ、翌年の春に実を結ぶ。名は、田んぼの苗代を作る頃実が赤く熟すことから。生け垣や庭木に利用。・・・▼やわらかな緑が山々を彩っている。「緑色」は、自然界のエネルギーを感じられるアースカラーのひとつ。▼ナワシログミの艶やかな濃い緑、銀色の毛に包まれたコナラの薄緑、エゴノキの爽やかな緑。この季節、なんとたくさんの樹々が個性を輝かせていることか。▼織りなす美しい色を愛でつつ自然界のエネルギーを受け、是非ピンチをチャンスに！

～佐伯区湯来町 2021・5月～